

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)	良くなる	一般小売店〔土産〕（経営者）	・インバウンドの増加に期待する。
		美容室（経営者）	・行楽シーズンで様々な行事があるので、客足も良くなる。
家計動向関連 (東海)	やや良くなる	商店街（代表者）	・気候が良くなって人出が増えることが見込まれ、若干良くなる。
		商店街（代表者）	・東京オリンピックがあるので、引き続き前向きな期待を持っている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・率直なところ先行きは見通しづらいが、期待感を持っている。
		百貨店（販売担当）	・新作商品の展開やイベント開催で、自家需要の喚起が見込める。今後数か月は人出が増え、購買意欲の高まりが期待できるため、先行きの見通しはそれほど暗くない。
		スーパー（経営者）	・伊勢志摩サミットの効果で、来客数は増加傾向にあり、今後も期待している。
		スーパー（販売担当）	・春夏物へ商品の入替えが始まり、商品にもよるが動きが良い。客の購買意欲の高まりが期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・売場改善の投資を実施しており、品ぞろえに変化と幅を持たせ、欠品商品の発生も少なくなる。
		コンビニ（エリア担当）	・主力の米飯類の動きに、回復がみられる。
		家電量販店（店員）	・高価格帯の商品を希望する客が、以前と比べると増えてきている。今後は売上の伸びが期待できそうである。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・中国経済の影響が小さくなり、伊勢志摩サミットを控えて、株価も踊り場を抜け出して回復する。
		観光型ホテル（経営者）	・5～6月の予約客は、前年比で7～10%増えている。伊勢志摩サミットのおかげで、三重方面の客がこちらにシフトしている。近隣の宿泊施設が耐震工事で2か月間休業ということもあり、本格的な景気の回復というよりは、外部的な要因のため手放しでは喜べないが、来客数は増加が見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・海外旅行の欧州方面には不安材料があるが、国内旅行は順調に推移している。
		旅行代理店（従業員）	・政府の予算によるインバウンドやMICE事業、地方創生のための観光地域づくりへの助成は、旅行需要拡大への強い味方である。旅行者にメリットやお得感があると旅行への支出が増え、旅行者数の増大にもつながり、観光産業の成長をもたらすのではないかと期待している。
		通信会社（営業担当）	・異動等で人の動きが増える時期であり、良くなると思われる。
		美顔美容室（経営者）	・ホワイトニング商品の販売が続き、4月からは新たなキャンペーンも始まる。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・気候が良くなり、外出するためのレンタル用具の出荷が見込まれる。
家計動向関連 (東海)	変わらない	商店街（代表者）	・消費税増税を控え、消費者には節約志向が浸透している。
		商店街（代表者）	・率直に言えば、景気の気、気持ちの気が向上しない限り、客単価が上向いてデフレから脱却することはないと感じる。政府、マスコミも、気分が晴れ晴れするようなメッセージを、発信して欲しい。
		商店街（代表者）	・特にプラスの要素はなく、この先も売上は低水準で推移していく。
		商店街（代表者）	・必要品以外は購入しない状況が続いている。今後も、このような状況が続くと思われる。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・4月のセールに期待しているが、今の状況では先の見通しについても強気にはなれない。当地方は中小企業が多く、景気は落ち込んだままである。大きな都市に出掛けると、ターミナル駅や百貨店の地下では人が一杯である。地方では人出も寂しい状態である。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・客層は年金世代の高齢者が多く、政治情勢等が今より変わらなければ、現状のままで推移する。消費税増税の方向がはっきり決まれば、少し動きが出てくる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・必要な物は仕方なく買い、余分な物は買わないという風潮が、まだしばらくは続く。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは、販売量の動きは変わらない。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・アベノミクスや消費税増税の先行き、テロ事件や米国大統領選挙等の世界情勢等、不確定要素が非常に多いため、良くなることも悪くなることも言えない。

一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・新年度に入って受注も平常期の動きに戻る。今のところ特 需要件も見受けられない。
百貨店(売場主任)	・優待キャンペーンが始まり、時期的にも入学式用の靴を 買いに来る親子連れも増えるため、一時的に売上は増えている が、2～3か月後の売上は伸びない。
百貨店(企画担当)	・消費税再増税の実施が明確になれば、夏ごろから高額品等 に動きが出始めるが、実施が不明確なため先行きに不透明感 がある。
百貨店(経理担当)	・経済環境が劇的に変わらなければ、景気は良くなる方向に は向かわない。
百貨店(経理担当)	・春闘にも影響を与えた景気の先行きに対する懸念は、依然 として残っている。世界経済が回復・安定しない限り、我が 国の景気も改善が見込めない。
百貨店(販売担当)	・新学期需要も前年並みには届かず、購入点数の減少が続い ている。
百貨店(販売担当)	・有効な景気対策が実行されなければ、消費の動きは改善し ない。当面は、現在の停滞感が漂う状況から変化はない。
スーパー(経営者)	・中国経済の減速は思った以上に深刻で、我が国からの輸出 は米国を除いて多くの国で減る。原油・ガス産出国も輸出が 鈍り、原油価格も引き続き安値が続く。デフレ脱却は、原油 安や円高で結果が出ず、こうした状況が6月ごろまで続く。 給与は上がり消費も一向に改善せず、景気回復の足を引っ 張るので、3か月先はまだ良くならない。
スーパー(店長)	・この春の賃上げでも給料が大幅に変わるわけではなく、先 行きも良くなるとは思えない。
スーパー(店長)	・異動の時期だが、消費への影響は不透明である。良い方向 に向かえば品物の購入が増えるが、先行きに不安があれば、 あまり大きな買物はしない。新入社員が物を買うようであ れば、先行きは若干変わる可能性がある。
スーパー(店員)	・これから気温が高くなるため、品質の面から食品をまとめ 買いするような動きはない。しばらくは横ばいが続く。
スーパー(店員)	・来客数、販売数共に増加しない状況が続いており、今後の 見通しも、横ばいである。
スーパー(販売促進担 当)	・消費者の懐具合が改善しないと景気は良くならない。消費 税再増税を先に伸ばすか、大きな改善がなければ、以前のよ うな購買意欲は戻ってこない。
スーパー(販売担当)	・商品の値上げが続き、景気が良くなる材料もない。
スーパー(支店長)	・全般的に商品の動きが悪く、良くなる気配は感じられな い。消費が鈍化している。
スーパー(営業企画)	・金利、株価の動向が不安定で、景気の先行きは不透明であ る。消費は堅調な動きが続くと思われる。
スーパー(企画・経営 担当)	・今のところ、景気が変動するような要素が見当たらない。
スーパー(人事担当)	・春闘で賃上げがあっても、食費が増加して恩恵が表れるに は、もう少し時間がかかる。
スーパー(商品開発担 当)	・来客数の回復が急務であるが、有効な対策がない状態で、 2～3か月先に良くなる見込みはない。
コンビニ(企画担当)	・インバウンドは、東京オリンピックまでは堅調と見込まれ る。ただしテロ等の海外情勢が影響してくると変ってくる。
コンビニ(店長)	・好材料が見当たらず、良くなる兆しはない。
コンビニ(エリア担 当)	・当面は、今月と変わらない状況で推移する。
コンビニ(店長)	・繁華街の人出が減っている。今後も現状と変わらないか、 やや悪い状況が続く。
衣料品専門店〔紳士服 洋品〕(売場担当)	・景気が上向きになる要因がない。ただし、悪くなる要因も ない。
乗用車販売店(営業担 当)	・ガソリン価格は比較的安値で推移し、株価下落も一段落し て再び上昇の気配もあるので、景気は悪くはならない。た だし、良くなるまでは言えない。
乗用車販売店(経営 者)	・基本的には変わらないと見込むが、消費税再増税の動向が 懸念される。
乗用車販売店(従業 員)	・3月は良かったが、この先に期待できる具体的な要因はな い。
乗用車販売店(従業 員)	・客との会話では、所得が増えるような話が聞かれない。今 後は新型車両の発売もあり、客の動きが少しでも活発になる ことを期待している。
乗用車販売店(従業 員)	・良くなる方向にも、悪くなる方向にも、変化はないと認識 している。

乗用車販売店（従業員）	・決算期は今一つであったが、建築関係等、好調な法人からの注文が増えている。良くなるまでは言えないが、何とか持ちこたえそうである。特に、商用車の買換えや増車が多く、好調な決算が見込まれる法人では、設備投資や節税対策が行われている。
乗用車販売店（従業員）	・先行きが良くなるような具体的な要因が、全く見当たらない。しかし、更に悪化するような雰囲気もない。現状の低迷したままの状態が続く。
乗用車販売店（総務担当）	・人材採用が難しくなっており、企業は給与水準を上げなければならないが、上げたからといって、消費がすぐに上向くようには思えない。
乗用車販売店（経理担当）	・県内では非製造業の業況見通しが下降気味である。先行きに明るい兆しがみえない。
乗用車販売店（販売担当）	・これまでの販売施策では、年末まで力を入れて12月にピークを迎えていたが、1月以降も販売台数を増やす方針となり、1～3月もメーカーの支援を得られた。しかし、4月以降の方針がまだ決定していないため、何とも言えない。
住関連専門店（営業担当）	・住宅、マンション建設は横ばいである。設備投資や他の新規工事も横ばいが見込まれる。現場が多く伸びる要素があるのは、大規模改修やリフォーム工事のみである。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・客の動きは、足元からそれほど変わるようには思わない。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・支出を控えて貯蓄する人が増えている。株価も下がり、金相場も少し不安定なため、金製品を購入する客は多いが、宝石に関しては買い控えがみられる。
高級レストラン（役員）	・足元の予約数は、前年同月比で横ばいの推移となっている。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる要素は見当たらない。
一般レストラン（経営者）	・消費税の動きが影響しているように感じる。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・伊勢志摩サミット、参議院選挙が終わり、消費税増税の確定となれば、景気は現状維持かやや悪くなると見込まれる。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・正社員、パート共に人材不足が続いているが、給与水準は変わらないため、景気の水準も現在と変わらないと見込まれる。
都市型ホテル（従業員）	・予約数の動きから、先行きも変わらないと見込まれる。
都市型ホテル（支配人）	・宿泊客はインバウンド次第である。ゴールデンウィークの予約の伸びは良くない。価格を少し高くすると、予約が入りづらくなる。
都市型ホテル（経理担当）	・前年並みの宿泊客が見込まれる。
旅行代理店（経営者）	・金利政策の効果が具体的に出てくるまで、まだ時間がかかるような気がする。
旅行代理店（経営者）	・客の様子から、テロの危険がある地域は避け、安全で安心して楽しめる場所、都市型観光よりも自然志向に関心が向いていると感じる。
タクシー運転手	・タクシーよりも安い運転代行サービスを使う人が増えており、その傾向がこれからも続く。
タクシー運転手	・春闘の大手企業での受給報告をみるとやや良いが、家電メーカー等も厳しいので、先行きにはあまり期待できない。このままの状態が続けば、良い方であると見込んでいる。
タクシー運転手	・前年同月比の数字は、多少は上向きになってきている。良くなることを期待するが、現状から大きくは変わらない。
通信会社（企画担当）	・様々なプラス要因、マイナス要因があるが、これといった決め手はなく、結果的に現状維持のように思われる。
観光名所（案内係）	・だれに聞いても、景気は悪いと言っている。景気が良くなる兆しがみえない。
ゴルフ場（企画担当）	・5～6月はゴルフには良いシーズンとなるので、悪天候が続かなければ、入場者数は確保できる。しかし、予算目標もそれなりに高くなるので、達成状況としては、特別良くはならない。雨天等による入場者数への影響が心配である。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・放課後デイサービスの利用者数は定員に達しており、今後の増加は見込みづらい。
住宅販売会社（従業員）	・販売量が変わりそうな要因が、あまり見受けられない。
住宅販売会社（従業員）	・工事費が小さな案件の増加で何とか維持しているが、地方の末端の住宅工事施工店では、苦しい状況が変わらない。

	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・客の予算が少しでも上向けば良いが、現状からは先行きが回復しないように感じる。
やや悪くなる	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・これから様々な商品が値上がりする一方で、給与は増えていかないの、消費を抑制すると見込まれる。自分のためのプレゼント購入や贈答品を送る範囲を絞っていくと見込まれる。
	百貨店（販売促進担当）	・消費税再増税を見送らないと、状況は現状維持か一層悪化すると見込んでいる。
	百貨店（販売担当）	・これまで消費をけん引してきた富裕層の購買意欲に、中国の景気減速や欧米の政情不安定、株価の下落が水を差す。
	スーパー（総務担当）	・来客数が、前年同期比で3%ほど減少している。
	コンビニ（企画担当）	・原油価格も上昇に転じ、良くなる要素が見当たらない。
	コンビニ（店長）	・周りに大企業に勤める人は少なく、賃金が上がるとい話は聞かない。比較的単価の低い商品の売行きが良く、節約志向は根強いと感じる。
	コンビニ（商品開発担当）	・景気減速の影響で、客単価は一層の下落が見込まれる。
	衣料品専門店（販売企画担当）	・売上は、今年に入って減少している。
	家電量販店（店員）	・来客数の減少は売上の減少につながる。商品価格の上昇で何とか維持しているが、今の状態が続くと、単価も下がり始め、売上が前年水準を割る状態になりかねない。
	乗用車販売店（従業員）	・決算期を過ぎると市場は大幅に冷え込む。新車販売が見込める要素はなく、人気車種は納期が大幅に遅くなっており、登録実績にも影響が出始めている。
	その他専門店〔書籍〕（店員）	・例年、売上がやや落ち込む時期となる。イベント等を増やして客を呼び込みたいが、あまり期待はできない。
	一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・夏にかけては売上減少が見込まれる。店舗独自のイベントを考えている。
	一般レストラン（経営者）	・世界情勢の影響で日本経済に対する不安が高まる。メディア等で日常的に為替や株等の変動が報道されると、株取引を行っていない一般給与所得者の心理にも影響する。外食を控えて、家飲みが増える傾向がみられる。
	一般レストラン（スタッフ）	・足元では、気候の影響でかなり来客数が減少している。景気の先行きが見通せず、良い話は耳にしない。
	観光型ホテル（販売担当）	・団体宿泊客が伸び悩み、食堂利用も減少している。これからハイシーズンとなる婚礼客も、受注状況は前年同期を二けた下回っており、良くなる見通しはない。
	都市型ホテル（経営者）	・予約はたくさん入るものの、直前のキャンセルが多く、販売実績につながらない。
	旅行代理店（経営者）	・欧州のテロや中国の経済減速等、産業面の減速が消費にも影響している。ターミナル駅前にオープンした大型ビルや百貨店も、にぎわっている割には、購入客が持つ店名入りの紙バックは、全くと言っていいほど目にしない。見物だけで購買に結び付いていない。
	旅行代理店（経営者）	・消費税率が8%に上がってから、ポディーブローのように景気に影を落としている。参議院選挙の結果次第と思われるが、消費税再増税の先行きが分岐点となる。
	旅行代理店（従業員）	・春闘をみていると、大手企業もそれほど上昇していないので、中小企業は更に厳しくなる。先行きが不安定なので、金の流れがレジャーよりも貯蓄に向かってしまう。
	タクシー運転手	・タクシー利用客は、目に見えて減っている。
通信会社（営業担当）	・客は少しでも得になる情報には敏感になっている。良くなるとは考えにくい。	
パチンコ店（経営者）	・業界全体で、低単価による薄利多売経営が加速している。	
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・今になって消費税率8%となった影響が出てきている。中小企業の広告出稿の動きが良くない。	
理美容室（経営者）	・客との話では、様々な商品が値上がりしているが、給料は増えていないので、景気は悪くなっていく。	
美容室（経営者）	・地域の人口が減り続けているということは、景気は良くない。また、行政による対応も見受けられない。	
美容室（経営者）	・足元では年度末やイベント等で金を使う客が多いが、2~3か月後には、堅実な節約モードに戻る。	
設計事務所（職員）	・アベノミクスは一般市民にほとんど影響ない。これからも、特に給与が上がりそうな要因は見受けられない。	
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・見積依頼等の状況を見ると、年度が替わって企業の設備投資は落ち着く傾向である。	

		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・公共事業、民間案件共に受注単価が低いため、利益の確保できる仕事は減っている。景気回復の実感はなく、中小企業は、悲鳴を上げている。
	悪くなる	商店街（代表者）	・消費税率は8%でもかなり重税感があり、もし再引上げが行われた場合、節約志向が一層強まる。リオオリンピックが近くなりテレビは売れるかもしれないが、エアコンは苦戦すると思われる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・客の金の使い方は、一層メリハリが付き、飲食に対しては、財布のひもが更に固くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・なじみ客ですら、来店回数が減っている。
		乗用車販売店（経営者）	・例年の流れとはいえ、決算期が終了する4月以降はかなり厳しい状況が見込まれる。
		スナック（経営者）	・ゴールデンウィークも気掛かりであるが、年金生活者が多い客のなかには子供に援助している人も多く、財布のひもは年々固くなっている。
		通信会社（サービス担当）	・引越しシーズンが一段落すれば、新規申込の減少が見込まれる。
		理容室（経営者）	・客の話からは、まだまだ、景気が良くなるとは思えない。
		住宅販売会社（経営者）	・円安で物価が上がり生活費が増えているため、家の購入をちゅうちょする客が多く、なかなか購入まで至らない。
企業動向関連 (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・地域経済としては、伊勢志摩サミット関連の来訪者も増え、鉄道やホテル等では業況が上向いていると感じる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先で設備投資予定があるため、OEM製品の出荷が見込める。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・客先の設備投資がしばらく続く。
		輸送業（エリア担当）	・企業内で人の動きが活発になっており、組織が活性化し、活力が生まれる。景気の動きにも影響を与え、景気は上向く。
		通信会社（法人営業担当）	・衆参同時選挙の可能性もあり、与党は躍起になって、複数の景気回復策を打ち出してくると思われる。
		行政書士	・年度替わりでやや良くなるが、個人の貨物の動きからは、財布のひもは相変わらず固いという業者の声もある。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・4月になれば公共案件の増加が見込まれる。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・国内では業種によって繁閑に少しずつ差が生じており、この状態は当分続く。海外では、投資先が従来の中国から、ベトナムやフィリピンに移り、今後はミャンマーも増えていく。当社としては、新製品開発を続けていく。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・円高、株安等が続き、景気が今より良くなるような情報もなく、今のままの状況が続く。
		化学工業（総務秘書）	・世界情勢は足元の状況が続くものと思われる。国内で景気が大きく動く要因としては、消費税増税が確定した時である。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・ほぼフル生産の状態がずっと続いている。客先の状況も今後2～3か月はほぼ横ばいという話が多く、しばらくは好況が続く見込みである。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合い件数の減少が続いており、新年度になっても悪い状況が変わらずに続く見込みである。
		金属製品製造業（従業員）	・足元では例年並みかやや少ない感じの動きであるが、先行きのプロジェクトはあるので、プラス・マイナス両面の要素がある。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・例年であればスマートフォンの新製品に向けて、設備投資が増加する時期であるが、今年は伸びが鈍く、現状から横ばいと感じる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量、販売量は横ばいの見込みである。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・突発事項が発生しなければ、緩やかな上昇も期待できるが、何か発生すると、急激に落ち込む可能性もある。不確定要素が多く予想が立たない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・客先のケーブルテレビ業界では、設備投資意欲が減退したままの状況が続いている。横ばいが続いており、なかなか立ち直りの兆しがみられない。
		輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	・変化の材料もなく、体感的にもあまり変わらないので、今後も変化はないと思われる。
		輸送用機械器具製造業（研修担当）	・消費税増税が実現するかどうかで、自動車等の大型消費の動きが変わる。現段階では実現しないと想定し、3か月後も変わらないと考える。

	建設業（営業担当）	・浄化槽清掃は下水道の普及と相対するため、件数が減って いくなかで、新しい事業や工事や設備設置に関わろうと思う が、既存の業者と競合になるので、進出しても結果がどうな るかは、まだわからない。
	輸送業（エリア担当）	・軽油単価が、前年比で1リットル当たり15円以上値下がり しており、非常に助かっているが、貨物の荷動きは、今一つ 緩慢である。
	輸送業（エリア担当）	・貨物の動向に影響を及ぼす大きな要因は、特にない。
	通信会社（法人営業担 当）	・生活者は、少しでも安く買物をし、生活を守るため知恵を 絞っている。特に、高齢者、派遣社員や母子家庭の家計は、 深刻な状況に見受けられる。
	金融業（従業員）	・土木系や自動車関連の事業者からは、若干は良くなる傾向 にあるという話を耳にする。
	金融業（企画担当）	・個人投資家は、相場が株高・円安に向かわないと動きを再 開できない。投資家以外の個人は、給与が上がらないと消費 は拡大しない。当面は今の景気が続くと思われる。
	不動産業（用地仕入）	・販売価格の動きからは、景気を大きく左右しそうな要因は 見当たらない。
	企業広告制作業（経営 者）	・中央省庁の地方移転は、地方再生のかぎとなる。花火は上 がったが結末はどうなるかわからない。当事者の反対で地方 移転が阻止されるようなら地方の落胆は大きい。効果に期待 するが、この問題の決着によっては、先行きへの見方が変わ る。
	広告代理店（制作担 当）	・広告の受注量、客先の予算共に、全体的にはそれほど変わ らず、現状維持が続く。
	公認会計士	・政府の政策も含めて先行きが改善する要素がない。金融機 関の業務方針が、従来どおり経営改善支援重視なのか、業況 の良い会社の重点支援となるのかははっきりしないため、地域 金融機関を主力行とする中小企業の先行きが不安である。
	会計事務所（職員）	・金利引下げの効果は、期待されたほど大きくない。設備投 資や株式投資等においても、活発化はみられない。
	会計事務所（社会保険 労務士）	・経営相談の件数が少なく、経営者はしばらくは現状維持と いう判断をしているように見受けられる。
やや悪くなる	食料品製造業（営業担 当）	・業界では、恒常的な経費削減の要請が身近にまで浸透して いる。削減項目が徐々に増えていることから、景気としては 徐々に悪くなると見込まれる。
	出版・印刷・同関連産 業（代表）	・経営が厳しいためか、広告主である中小事業者は、少ない 費用で最大の効果を求めて、多様な媒体を選択する傾向が 年々強まっている。媒体の価値や効果を相当高めないと、客 の決定要因は料金水準だけになりかねず、先行きは厳しい。
	化学工業（営業）	・客から値下げの要望があり、販売単価は現行より低下する 見込みである。
	化学工業（人事担当）	・先行きも、海外の経済情勢やテロ等の様々な要因で、企業 の設備投資や個人の株式投資等が安心して行えない状況が続 き、景気は引き続き低迷すると思われる。
	鉄鋼業（経営者）	・4月以降の仕事情が今になっても聞かれぬ。競合他社 では、在庫過剰を解消するための乱売も予想される。
	電気機械器具製造業 （営業担当）	・定常業務にはあまり変化はないが、期末の駆け込み需要が 少ないので、景気は悪化方向にあると思われる。
	輸送用機械器具製造業 （総務経理担当）	・中国の景気減速や為替相場がやや円高傾向ということで、 完成車メーカーの話では、4月以降の1年間は、前年比の数字 が落ちると聞いている。
	輸送用機械器具製造業 （経理担当）	・来年度の計画値は、期初から今年度を下回る見込みであ る。
	建設業（経営者）	・消費税増税が議論されているが、長期的な視野で慎重に 検討し、総合的な判断をすべきである。
	輸送業（経営者）	・中国景気低迷の長期化や国際情勢への不安で、輸出入貨物 の減少が懸念される。国内の消費財も、景気が悪くなるとの 報道から、客先では消費者心理の冷え込みを想定した荷量の 絞り込みが始まっている。
	輸送業（従業員）	・原油価格は底を打った模様で、物流業界では石油製品の一 層の値下がり効果が見込めず、コストの削減要因がなくな る。少子高齢化でドライバーの採用難が続いているため、待 遇改善のコストが増え、利益確保が一層難しくなる。
	輸送業（エリア担当）	・適正単価での受注より物量の増加に力を入れているため、 大口取引の増加で物量は増えるが、それに対する経費の増加 分を吸収できない。利益の増加は難しい。
	金融業（法人営業担 当）	・世界経済の減速に対する不安等から、設備投資等には慎重 な動きがみられる。

		新聞販売店 [ 広告 ] (店主)	・折込チラシは、小売業やサービス業からの受注が少ない。3月には良かった自動車等の決算セールチラシも、4月以降は期待できない。
	悪くなる	建設業 ( 経営者 )	・現政権の経済政策がなかなか上手くいっていない。外交面でも緊張が高まり、非常事態になれば景気は良くなると考えているのかもしれないが、経済と安全平和に関する現政権の方針への違和感から、先行きに対する不安が払しょくできない。
雇用 関連  (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社 ( 営業担当 )	・新入社員の配属が決まるため、この先は人事関係での様々な動きが出てくるのではと考えている。
		人材派遣会社 ( 支店長 )	・派遣業務に関する売上は緩やかな右肩上がり基調が続いている。この先も堅調に推移するものとする。
		民間職業紹介機関 ( 支社長 )	・4月以降は新しい期を迎える会社が多く、新たな取組を始めるところが増える。
		学校 [ 専門学校 ] ( 就職担当 )	・学内企業説明会への企業の参加意欲が高く、日程的にも容量的にも一杯で、一部を断っている状況である。
	変わらない	人材派遣会社 ( 社員 )	・正社員採用への企業の意欲は高いが、採用に見合う有能な人材が枯渇しており、採用決定では不調が続いている。
		人材派遣会社 ( 営業担当 )	・製造業ではまだまだ設計・開発案件を多く抱えており、要員募集の動きとしては、当面は、景況感の後退を感じない。ただし、元請け製造業から業者に対するコスト削減要求は変わらず厳しく、人材派遣業界もその煽りを受ける可能性があり、景気への若干の懸念もある。
		人材派遣会社 ( 営業担当 )	・前向きになれるような材料が見当たらない。
		アウトソーシング企業 ( エリア担当 )	・大手自動車メーカーでの2月の生産ライン停止に伴う巻き返しの生産増加は、4月以降にずれ込むが、景気としては、変わりはないと見込まれる。
		職業安定所 ( 職員 )	・中国景気の減速や為替相場の動き等から、先行きが見通しづらくなっている。
		職業安定所 ( 職員 )	・有効求人倍率は高水準で推移するが、求人数が増えていても賃金の上昇にはつながっていない。
		職業安定所 ( 職員 )	・正社員の有効求人倍率は、1を超えそうだがその手前の段階で足踏みをしている。求人募集時の雇用条件の改善が図られるかが、今後の課題と考えられる。
		職業安定所 ( 職員 )	・中堅規模の建設業や販売業等では、パートを中心とした募集が多い。今のところ中国経済の減速に伴う影響は出ていないが、先行きは予断を許さない。求人数は増加しているが、相変わらずパートや臨時職員としての求人が目立っている。
		職業安定所 ( 職員 )	・求人数は前年同期比で増加しているが、求職者数も増加しているため、雇用情勢の動きははっきりしていない。
	職業安定所 ( 職員 )	・介護職や保育士等では人手不足が際立っているが、給与面での改善が見込めないため、就職決定に結び付かない。	
	民間職業紹介機関 ( 窓口担当 )	・企業の採用予定数は変わらず増加傾向にあるが、求職者数の動きに変化を感じられない。	
	その他雇用 [ 広告代理店 ] ( 求人広告担当 )	・当分の間は、良くも悪くも景気には変化がなさそうに見受けられる。	
	やや悪くなる	人材派遣会社 ( 社員 )	・3月が良かった分、先行きはやや悪くなるが、予約状況は例年並みで、それほど悪くはない。
		新聞社 [ 求人広告 ] ( 営業担当 )	・人事担当者は新人の受入れや新年度の採用活動の開始等で忙しく、人手不足を解消するための根本的な解決策が手付かずとなっている。このままでは企業の生産活動に一層のブレーキがかかる。敏感な営業部門と比べ、人事総務部門は感覚が鈍いようで、いまだに、採用してあげるといったスタンスが見受けられる。
		職業安定所 ( 所長 )	・業種間で差異はあるが、更新求人では賃金等の労働条件を引下げる案件が、2割程度出てきている。在職者も含む求職者では、業種を変える希望者が多くなっている。
		民間職業紹介機関 ( 営業担当 )	・大手企業では、来年度の募集案件が固まるのは5月以降となるところがあり、4月は前年度からの持ち越し案件が主となり、採用決定が鈍化する可能性がある。
	悪くなる	-	-